

おいしく貯金！地域農業を味わって 貯金契約者から抽選で「西尾梨狩り」招待

地域農業応援企画！！



6月17日から8月16日にかけて開催したサマーキャンペーンでは、貯金契約者特典の一つに農業体験「西尾梨狩り」を盛り込み、信用事業を通じた地域農業の活性化に力を入れています。

2018年 冬：イチゴ狩り
2019年 夏：西尾梨狩り

今後も営農事業と連携した貯金キャンペーンを企画し、JAならではの地域振興を推し進めていきます！

●サマーキャンペーン企画●

定期貯金20万円ごとに抽選券1枚配布、応募総数3,388件の中から抽選でペア100組200名様を西尾梨狩りに招待。

※当選ペアの未成年の家族は一人500円（3歳以上）で参加可能。

→「あきづき」の食べ放題（1H）&お土産付で、地元で採れた瑞々しい梨を満喫していただき、「西尾梨」の周知とファン拡大を図ります。

取材対応日

【日時】 9月14日（土） 午前9時～

【場所】 犬塚梨園
（西尾市和気町）
生産者：犬塚忠雄さん

※農業体験「西尾梨狩り」は、9月14日（土）・15日（日）・21日（土）・22日（日）の4日間開催します。

※取材される報道機関の方は、JA西三河企画課の尾形までご連絡ください。

※雨天等天候不順の場合、行わない場合があります。その場合には、事前に取材のご連絡を頂いた報道機関の方にはこちらからご連絡いたします。



《犬塚梨園への行き方》

「西尾東インター南」の交差点から「三和工業 西尾工場」方面へ約650m進む。

※付近に看板・案内人を配置しています。



「あきづき」は比較的新しい品種で、『新高』×「豊水」と「幸水」の交雑により誕生した赤梨。果実は大きめで、シャリツと食感と瑞々しさが特徴。豊水や幸水に比べて酸味が少なく、甘味をしっかりと感ぜられます。西尾市内では9月中旬から9月下旬まで約4ヶ月収穫・出荷します。「あきづき」という名前は、秋に収穫されることと形が月のように丸いことが由来。「秋月」と書かれることもあります。



【お問い合わせ・ご連絡先】

JA西三河（西三河農業協同組合）

〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：尾形

TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-6818

HP：http://www.ja-nishimikawa.or.jp/ Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関あてに発出しています。また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料（ニュースリリース）」ページにも掲載しています。

金融サービスを通じて地域農業を支援

●管内の全小学校へ学習資材の提供

毎年4月に全小学校の5年生児童へ「JAバンク補助教材「農業とわたしたちの暮らし」」を提供。将来を担う地域の子どもたちへ「食」と「農」を通じた教育支援を行っています。

※食農教育・環境教育などを基本テーマとした補助教材で、JAバンクでは2008年度から全国の小学校に配布しています。



●農家訪問による資金相談の実施

●農業制度資金の活用、農業融資の拡大

(2018年度 制度資金 16件、農業融資 39件)

営農部と連携し、認定農業者への訪問活動に同行することで農業資金需要の掘り起しを図り、資金ニーズに応じた農業制度資金の提案を行っています。積極的な農業支援事業の活用により、農家所得向上に取り組んでいます。

●地元農畜産物およびJAオリジナル加工品を特典とした貯金キャンペーンの展開

利用者・組合員の地域農業に対する理解促進と消費拡大につなげます。

《管内生産部会と協力した地域農業応援企画》



・貯金5,000億円達成記念大会で新鮮野菜の即売会を開催

産直部会員による旬の野菜や、共選部会によるイチゴ・トマト・キュウリなどの施設野菜を販売

・キャンペーン貯金奨励品に地元農畜産物

ブランド米「矢作の恵」、「三元豚ロース肉」、「コショウラン」、「サフィニア」、「イチゴ」、「ミニトマト」、「抹茶の加工品」など

・貯金契約者特典に農業体験「イチゴ狩り」「西尾梨狩り」を企画

・移転新築支店のオープン記念に

来店者へカーネーションプレゼント

・地域のお店や地元生産者と連携した

ご来店感謝デーの開催（夏と冬の年2回）

冬：JA役職員が育てたパンジーを1万鉢プレゼント



▲花壇苗農家の半田さん夫婦（前列中央）と定植に参加したJA役職員



安全・安心でおいしい「西尾梨」



《西尾梨の特長》

1. 有袋栽培

産地全体で有袋栽培を行っているのは西三河地域で西尾市のみ！
梨ひとつひとつに袋がけを行い、収穫まで大切に育てます。
⇒「袋がけ」により、果皮を美しく仕上げるとともに、
病虫害被害を抑え農薬使用量・回数を減らします。

2. 産地全体で取り組むIPM(総合的害虫管理)

こうしんかくらんざい

● 交信攪乱剤(性フェロモン剤「コンフューザーN」)

性フェロモン剤の設置により、交尾を連続的に阻害し交尾率を低下させて害虫「ナシヒメシンクイ」の繁殖を抑制。
害虫の発生を抑えることで農薬剤費と労働力の低減につながります。

● 虫をもって虫を制す！

「バンカーシート」の活用で天敵を利用

露地ナシにおけるバンカーシートの活用は全国的にも珍しく、東海3県では西尾市と豊田市で2018年に初めて試験を実施！農薬の効き目が低下し「ハダニ」被害で苦勞する農家がたくさんいることを背景に、西尾梨の安定生産に向けて「ハダニ」対策に力を入れています。

「ハダニ」を捕食する天敵「ミヤコカブリダニ」を農薬や環境変化の影響から保護し、増殖・放出する資材『バンカーシート』を活用！土着天敵と天敵製剤を組み合わせることにより、農薬散布回数が減り、コスト低減や労力削減につながっていきます。

※IPMとは、化学農薬をできるだけ用いずに、輪作体系や抵抗性品種、熱による消毒や機械などを用いた物理的な防除、天敵やフェロモンの利用なども組み合わせる総合技術。



バンカーシート設置のようす(ナシ)



産地全体で“環境に優しい防除”に努めて
安全・安心な「西尾梨」を生産しています！

【生産者部会情報】

名称：JA西三河梨部会（齋藤光俊部会長）

部会員数：62名

耕作面積：約17畝

年間生産量：約110トン ※JA西三河梨部会による共選出荷のみ（平成30年度作）

主な出荷品種と収穫時期：

「幸水」…63%、7月末～8月上旬

「豊水」…27%、8月下旬～9月中旬

「あきづき」…7%、9月中下旬

「新高」…3%、9月下旬～10月上旬

流通：JA高河原センターで荷受け後、安城市の選果施設で等階級別に分けられ、主に愛知県内の市場へ出荷されます。